

株主の皆さまへ

第40期報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

**TOWA**



 **TOWA株式会社**

## 株主の皆さまへ

### ■ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第40期報告書（2017年4月1日から2018年3月31日まで）をお届けし、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、堅調な企業収益を背景とした雇用・所得環境の改善により、景気回復基調が持続しております。世界経済におきましても、米国、欧州、中国経済は引き続き堅調に推移しております。一方、景気の先行きについては、原材料価格や人件費の上昇、円高や米国に端を発する貿易摩擦の強まり懸念など不透明な状況が続いております。

半導体業界におきましては、スーパーサイクルと呼ばれる高水準な半導体需要を受け、大手半導体メーカーやOSAT各社が新工場建設など積極的な設備投資を行っており、需要の取り込み競争が激化しております。また、AI（人工知能）や自動運転技術などの成長市場で競争力を高めるため、相互の強みを活かした異業種間での業務提携などの動きが活発化してきております。半導体の需要につきましては、スマートフォン1台あたりのメモリー搭載容量増加やデータセンターの増設などにより、DRAM、NAND型フラッシュメモリーの旺盛な需要が継続しております。また、仮想通貨の市場拡大により膨大な計算を高速で処理する高性能な半導体も需要を押し上げており、さらなる需要の拡大が期待されております。

このような状況のもと、当社グループは、拡大する中国市場において本社および現地販売子会社と生産子会社が三位一体となり、お客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応することで需要を取り込んでまいりました。また、台湾や韓国市場においては、トランスファ方式とコンプレッション方式による最適なソリューション提案と改造ビジネスなどのTSS（トータル・ソリューション・サービス）を積極的に展開しております。

なお、当事業年度の期末配当金につきましては、2018年5月10日開催の取締役会にて、前事業年度と同じく1株当たり16円の配当を行うことを決議しております。なお、中間配当金を見送りとさせていただきますので、年間の配当金は1株当たり16円となります。

今後とも、株主の皆さまのご期待にお応えいたすべく、グループ一丸となって邁進していく所存でございますので、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 **岡田博和**

2018年6月

## 第40期の概況と今後の見通し

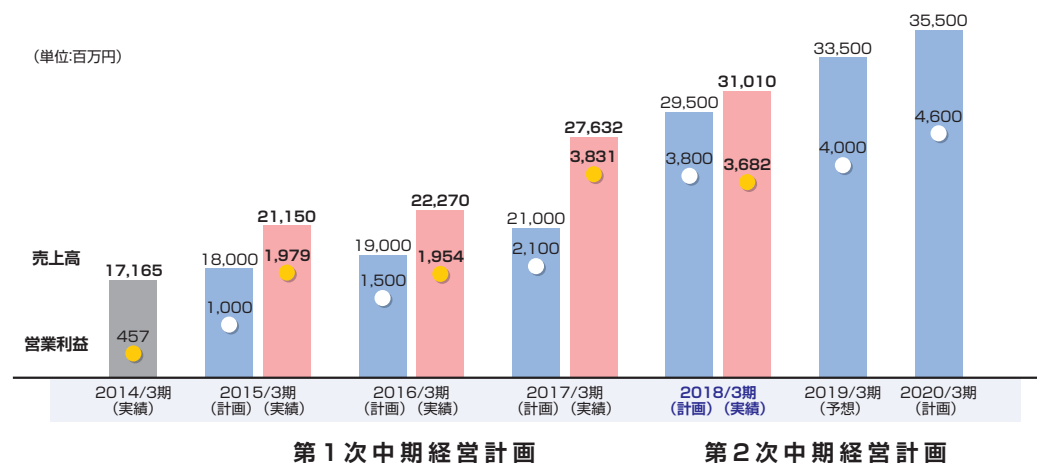
左頁で述べました取り組みの結果、当連結会計年度における売上高は310億10百万円（前連結会計年度比33億78百万円、12.2%増）となりました。

収益面におきましては、設計の自動化や海外生産子会社からの直出荷体制の構築など生産性の効率化を図ってまいりましたが、製品ミックスによる要因に加え、受注・売上高の増加や短期納期対応により外注協力会社への費用が増加した結果、営業利益36億82百万円（前連結会計年度比1億49百万円、3.9%減）、経常利益35億40百万円（前連結会計年度比5億91百万円、14.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益30億26百万円（前連結会計年度比8億40百万円、21.7%減）となりました。なお、売上高営業利益率は10%以上を維持しており効率的な営業活動を継続しております。

今後の見通しですが、半導体業界におきましては、けん引役の一つであるスマートフォンの販売減速が懸念されておりますが、第5世代移動通信システム（5G）、IoT（モノのインターネット）、電気自動車（EV）、自動運転技術などが半導体需要をけん引し、2018年度の半導体設備投資は2年連続で過去最高を更新する見通しであります。このような状況において当社グループは、新製品の市場投入や欧米、韓国、中国に設置いたしましたラボ機能を積極的に活用し、お客様に開発段階から当社技術を評価していただくことにより確実に受注に繋げてまいります。

以上のことから、当社グループの2018年度の連結業績につきましては、売上高335億円、営業利益40億円、経常利益40億円、親会社株主に帰属する当期純利益29億円を予想しております。

### TOWA 10年ビジョン これまでの歩み



## 生産力強化 マレーシアで新工場を建設予定

マレーシアにある生産子会社のTOWAMでは、今後の需要増が見込まれる大判化対応装置(CPM1180)生産のため、新工場の建設を計画しております。

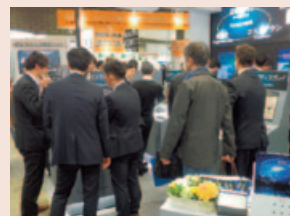
2017年12月には予定地の事業用定期借地権設定契約を締結しました(契約期間60年)。予定地はペナン州の本土側、バトゥカワン工業団地内にあり、広さは9エーカー(36,421㎡)と現工場の約3倍の広さです。

新工場では、TSS事業における部品製作専用ラインの設置や装置改造ビジネスの実施なども併せて計画しております。



## 取引機会の拡大 国際カーエレクトロニクス技術展に出展

2018年1月17日～19日、東京ビッグサイトでの「国際カーエレクトロニクス技術展2018」に出展いたしました。自動車業界での新規顧客獲得および当社の認知度向上を目的とし、半導体分野・新事業分野における最先端技術を駆使した提案型の展示を行いました。初の試みとして、来訪者の方々に興味のある分野を見ていただく為、テーマ別に展示台を設ける「アイランド方式」を採用し、車載分野における当社技術の可能性を感じていただけるよう工夫を凝らしました。



今回、自動車メーカーや部品・電装系メーカー等様々な業界の方にも当社製品への興味をお持ちいただき、ガラスへのコーティング等の試作について具体的な引き合いをいただくこともできました。

来訪者数は過去最多の663名を記録し、自動車業界の多種多様な企業とのつながりをつくる重要な機会となりました。今後、このご縁をさらなるビジネスへと展開すべく、積極的なフォローに努めてまいります。

## 韓国でプライベートショー&ラボ設置

2017年11月13日～17日、TOWA韓国の天安事業所でプライベートショーを開催し、半導体モールドング装置やモールドングされた製品を切断して個片化するシンギュレーション装置を展示いたしました。

三星電子やSKハイニックス等の取引先15社(236名)や官公庁・大学等の方々(96名)合わせて332名にご来場いただき、TOWAの製品や技術を紹介いたしました。なお、展示した装置はプライベートショー終了後もラボ機能として常設し、お客様の開発に活用できるようにしております。



## セミコンチャイナ2018(上海)に出展

2018年3月14日～16日、上海の新国際博覧センターで開催された「SEMICON CHINA2018」に出展いたしました。今回初めてTOWA独自ブースでの出展となりましたが、400名を超える方々にご来訪いただき、TOWAの装置および技術への関心と期待の高さが伺えました。

3台の装置(PMC2030-D、YPM-SP、FMS3040)を展示しましたが、新規のお客様からの注目度も高く、また既存のお客様からは期間中多くの商談や発注のご意向をいただき、今後のさらなる受注拡大に向け実りある出展となりました。



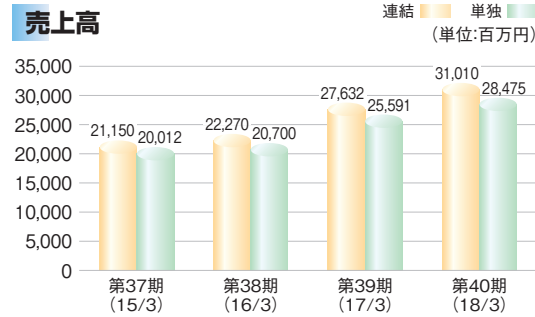
## JR京都駅にて 当社企業広告の上映開始



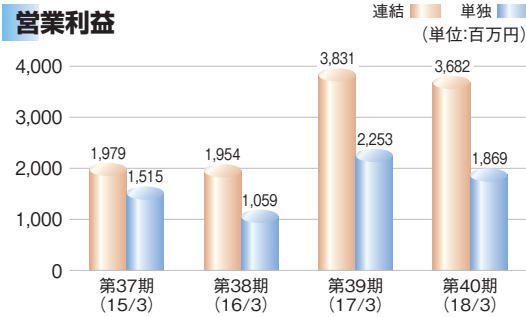
2018年4月1日より、JR京都駅の玄関口である中央コンコースに新たに設置されたデジタルサイネージ「京都プレミアムvision」におきまして当社の企業広告が放映されております。1ロール5分の上映時間中、当社の企業広告が1回(15秒)放映されております。当社の認知度やブランドイメージのアップに加え、採用活動の強化にもつながることが期待されます。

# 業績の推移

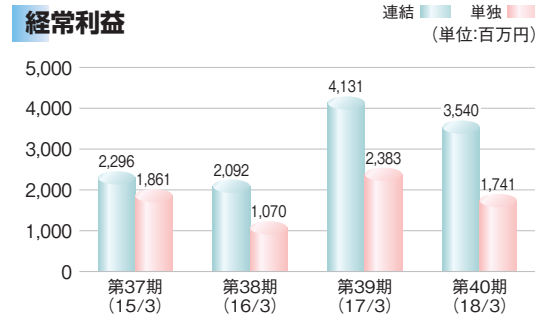
## 売上高



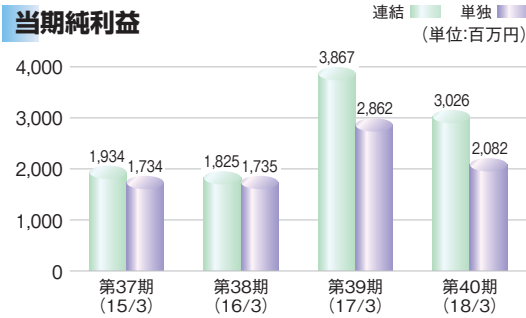
## 営業利益



## 経常利益

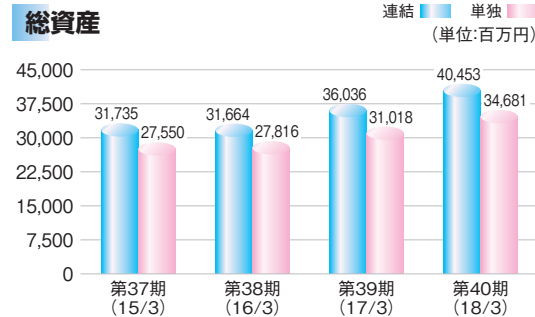


## 当期純利益

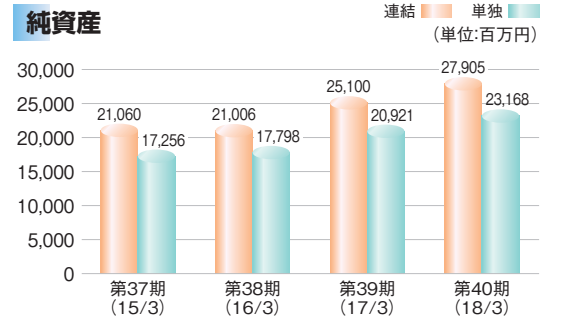


(注)連結については、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

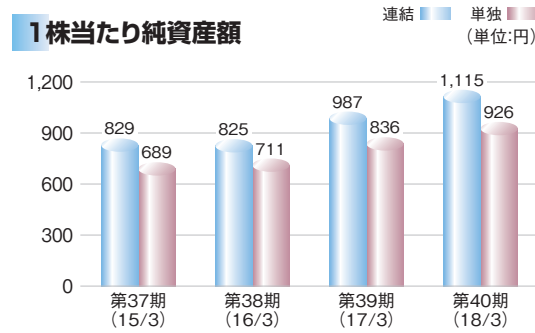
## 総資産



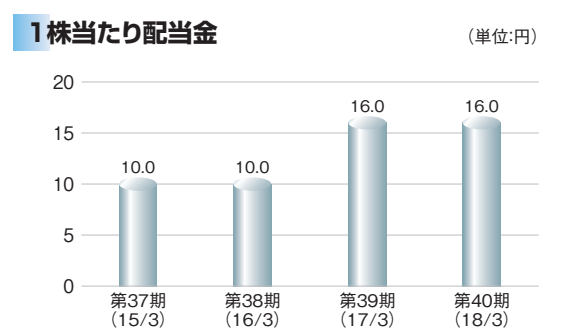
## 純資産



## 1株当たり純資産額

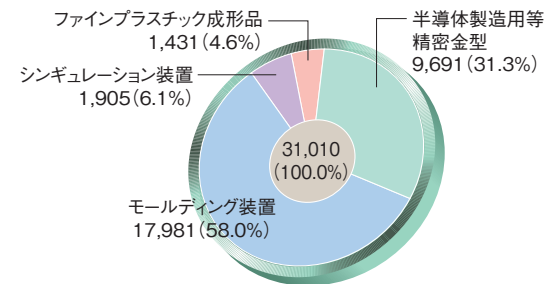


## 1株当たり配当金

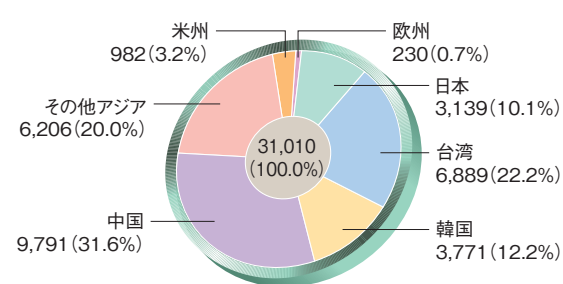


## [セグメント別連結売上高(第40期)]

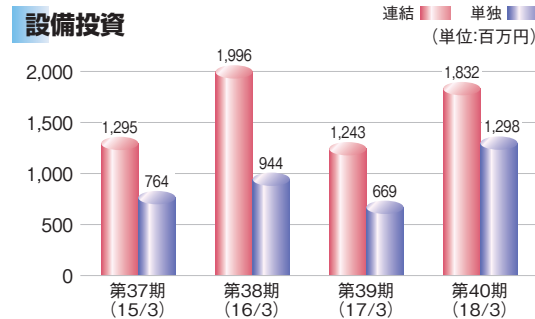
### 製品別 (単位:百万円)



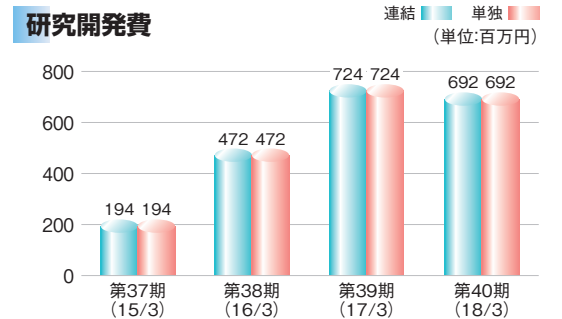
### 地域別 (単位:百万円)



## 設備投資



## 研究開発費



## 決算概要

連結貸借対照表 (2018年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>【資産の部】</b>	
<b>流動資産</b>	23,956
現金および預金	6,182
受取手形および売掛金	8,014
電子記録債権	151
たな卸資産	7,889
その他	1,720
<b>固定資産</b>	16,497
<b>有形固定資産</b>	11,580
建物および構築物	4,249
土地	4,371
その他	2,960
<b>無形固定資産</b>	654
投資その他の資産	4,262
<b>資産合計</b>	40,453

(注) 当期の連結子会社は11社であります。

連結損益計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで) (単位: 百万円)

科目	金額
売上高	31,010
売上原価	21,206
売上総利益	9,804
販売費および一般管理費	6,122
営業利益	3,682
営業外収益	162
営業外費用	305
経常利益	3,540
特別利益	70
特別損失	10
税金等調整前当期純利益	3,600
法人税・住民税および事業税	1,194
法人税等調整額	△ 637
当期純利益	3,044
非支配株主に帰属する当期純利益	17
親会社株主に帰属する当期純利益	3,026

科目	金額
<b>【負債および純資産の部】</b>	
<b>流動負債</b>	10,871
支払手形および買掛金	3,943
電子記録債務	542
短期借入金	1,800
一年以内返済予定長期借入金	818
その他	3,768
<b>固定負債</b>	1,677
長期借入金	806
その他	871
<b>負債合計</b>	12,548
<b>株主資本</b>	25,622
資本金	8,932
資本剰余金	462
利益剰余金	16,238
自己株式	△ 11
その他の包括利益累計額	2,282
その他有価証券評価差額金	2,017
為替換算調整勘定	153
退職給付に係る調整累計額	112
<b>純資産合計</b>	27,905
<b>負債・純資産合計</b>	40,453

連結キャッシュ・フロー計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで) (単位: 百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 843
現金および現金同等物の期末残高	6,146

連結株主資本等変動計算書 (2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2017年4月1日 期首残高	8,932	462	13,667	△ 9	23,052
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 400		△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益			3,026		3,026
自己株式の取得				△ 1	△ 1
連結除外に伴う利益剰余金減少額			△ 55		△ 55
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,571	△ 1	2,570
2018年3月31日 期末残高	8,932	462	16,238	△ 11	25,622

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2017年4月1日 期首残高	1,451	12	178	1,642	406	25,100
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益						3,026
自己株式の取得						△ 1
連結除外に伴う利益剰余金減少額						△ 55
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	566	140	△ 65	640	△ 406	234
連結会計年度中の変動額合計	566	140	△ 65	640	△ 406	2,804
2018年3月31日 期末残高	2,017	153	112	2,282	—	27,905

## 会社の概要

商号	TOWA株式会社 (英文名TOWA CORPORATION)		
設立	1979年4月17日		
資本金	8,932,627,777円		
本社所在地	京都市南区上鳥羽上調子町5番地 ☎(075) 692-0250(代表)		
従業員数	484名		
役員 (2018年6月28日現在)	代表取締役社長	岡田博和	
	取締役常務執行役員	浦上浩	
	取締役常務執行役員	田村吉住	
	取締役上席執行役員	石田耕一	
	取締役常勤監査等委員	小林久芳	
	社外取締役監査等委員	桑木肇	
	社外取締役監査等委員	和氣大輔	
	執行役員	蒲生喜代重	
	執行役員	伊藤篤二	
	執行役員	高瀬慎	
	執行役員	早坂昇	
	執行役員	鈕方舜	
	執行役員	韓相倫	
ホームページ	<a href="http://www.towajapan.co.jp">http://www.towajapan.co.jp</a>		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	株主総会権利行使および期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部
郵便物の郵送先および 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、 やむをえない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に 掲載します。 公告掲載URL <a href="http://www.towajapan.co.jp">http://www.towajapan.co.jp</a>

## 株式の状況 (2018年3月31日現在)

●発行可能株式総数	80,000,000株
●発行済株式の総数	25,021,832株
●株主数	9,006名
●大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,104 <sup>千株</sup>	20.41%
株式会社 ケイビー恒産	2,000	8.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,565	6.26
蒲生徳子	1,318	5.27
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,100	4.40
株式会社 京都銀行	699	2.80
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HC00	655	2.62
資産管理サービス信託銀行株式会社	573	2.29
坂東幸子	510	2.04
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505104	399	1.60

(注1) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数は信託業務に係るものです。

(注2) 持株比率は、自己株式(12,266株)を控除して計算しております。

## TOWAグループ (2018年3月31日現在)

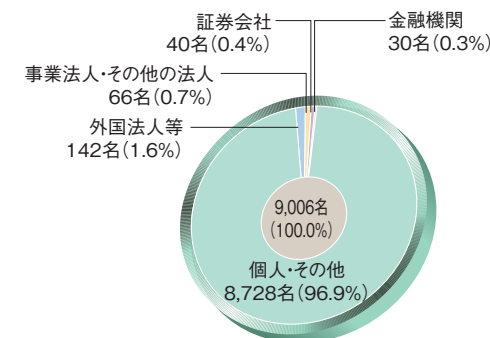
### ■国内

TOWA株式会社  
本社・工場  
京都東事業所  
坂東記念研究所  
九州事業所  
東京営業所  
株式会社バンディック  
TOWATEC株式会社

### ■海外

TOWA Asia - Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)  
TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)  
TOWA Semiconductor Equipment  
Philippines Corp. (フィリピン)  
TOWA USA Corporation (米国)  
TOWA Europe B.V. (オランダ)  
TOWA半導体設備(蘇州)有限公司 (中国)  
東和半導体設備(上海)有限公司 (中国)  
上海沙迪克軟件有限公司 (中国)  
蘇州STK鑄造有限公司 (中国)  
台湾東和半導体設備股份有限公司 (台湾)  
TOWA韓国株式会社 (韓国)

### ■所有者別株主数分布



### ■所有者別株式数分布

